

平成 29 年度 全国学力・学習状況調査結果の概要

京丹波町教育委員会

平成 29 年 4 月 18 日（火）に、小学校 6 年生と中学校 3 年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査における本町の結果の概要についてお知らせします。

【平成 29 年度全国学力・学習状況調査の概要】

1 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の視点から、全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、改善を図る。
- 学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査実施日及び調査の対象

平成 29 年 4 月 18 日（火） 小学校第 6 学年児童（5 校：99 名）
中学校第 3 学年生徒（3 校：101 名）

3 調査内容

（1）教科に関する調査

小学校：国語 A（15 問） 国語 B（9 問） 算数 A（15 問） 算数 B（11 問）
中学校：国語 A（32 問） 国語 B（9 問） 数学 A（36 問） 数学 B（15 問）

A：身に付けておかなければ後の学年等の学習に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

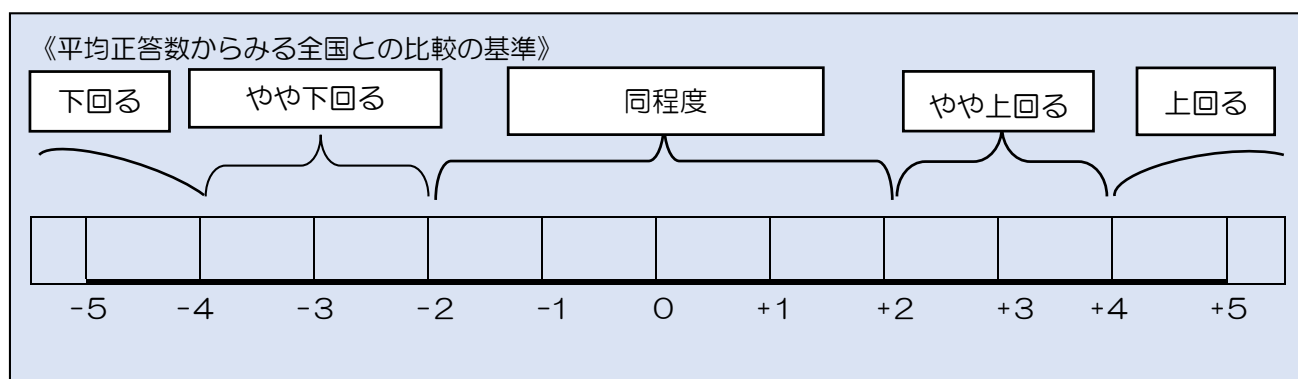
B：知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な問題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

（2）児童・生徒質問紙

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

* 調査結果については、教科や出題範囲が限られていることから、全国学力・学習状況調査で測定できるのは学力の特定の一部分です。

教科に関する調査結果



	国語 A	国語 B	算数・数学 A	算数・数学 B
小学校	同程度	同程度	同程度	同程度
中学校	同程度	同程度	やや下回る	同程度

【小学校】

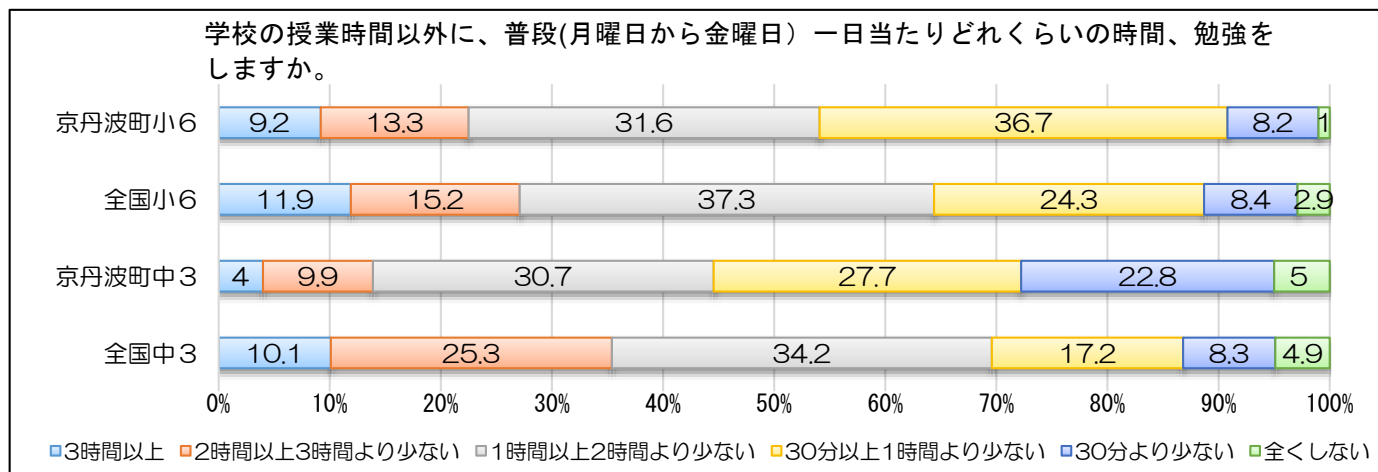
- 小学校の国語A、国語B、算数A、算数Bともにほぼ全国平均並みでした。
- 国語では、目的に応じて文章の中から必要な情報を見つけて読んだり、ことわざの意味を理解して自分の表現に用いたりすることにやや課題が見られました。
- 算数では、小数と整数の加法の計算や、示された条件をもとに適切な式を立てる問題にやや課題が見られました。
- 無回答率は、ほとんどの問題で全国平均に比べて低くなっており、児童が意欲的に問題に取り組んだことが伺えました。

【中学校】

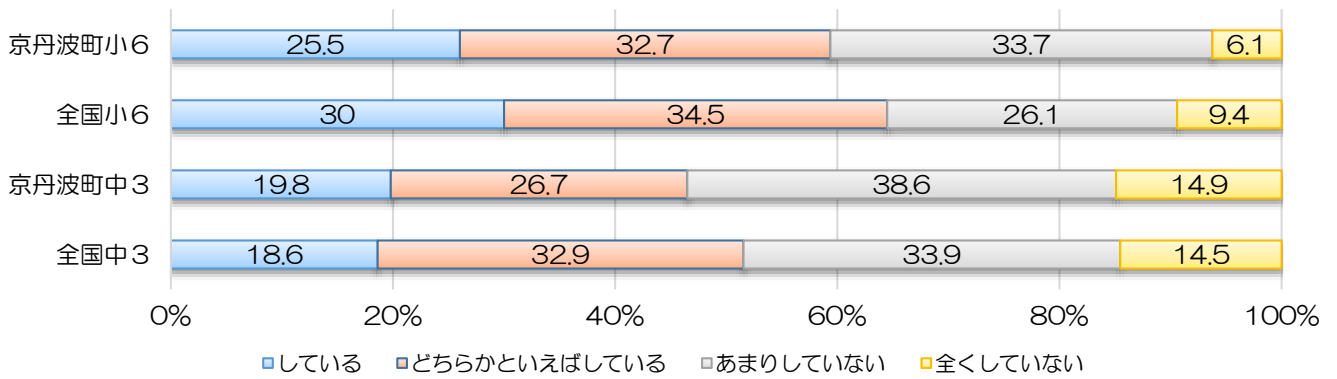
- 中学校の国語A、国語Bについては、ほぼ全国平均並みでしたが、数学A、数学Bについては、やや課題が見られました。
- 国語では、表現のしかたについて捉え自分の考えを書く問題や、必要な情報を集めるための見通しをもつ問題にやや課題が見られました。
- 数学では、簡単な一元一次方程式を解く問題は全国平均を上回っていますが、連立二元一次方程式を解く問題は全国平均を下回りました。事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明したり、筋道を立てて考え、証明したりする問題に課題が見られました。
- 無回答率は、ほとんどの問題で全国平均並み、または低い結果で、意欲的に取り組んだことが伺えましたが、自分の考えを説明する数学B問題においては、無回答率が全国平均より高い問題も見られました。

生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果

家庭での学習について



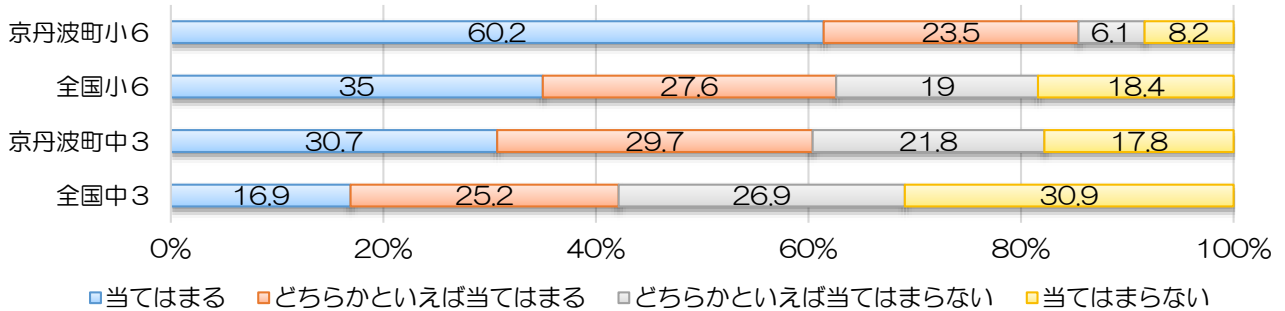
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。



- 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)に家庭で勉強をする時間が、「30分より少ない、または全くしない」生徒の割合が、全国と比較して多い。
- 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている。」と肯定的に回答している児童生徒の割合が全国と比較してやや少ない。
- 家庭学習については、今年度も課題が見られる。

地域との関わりについて

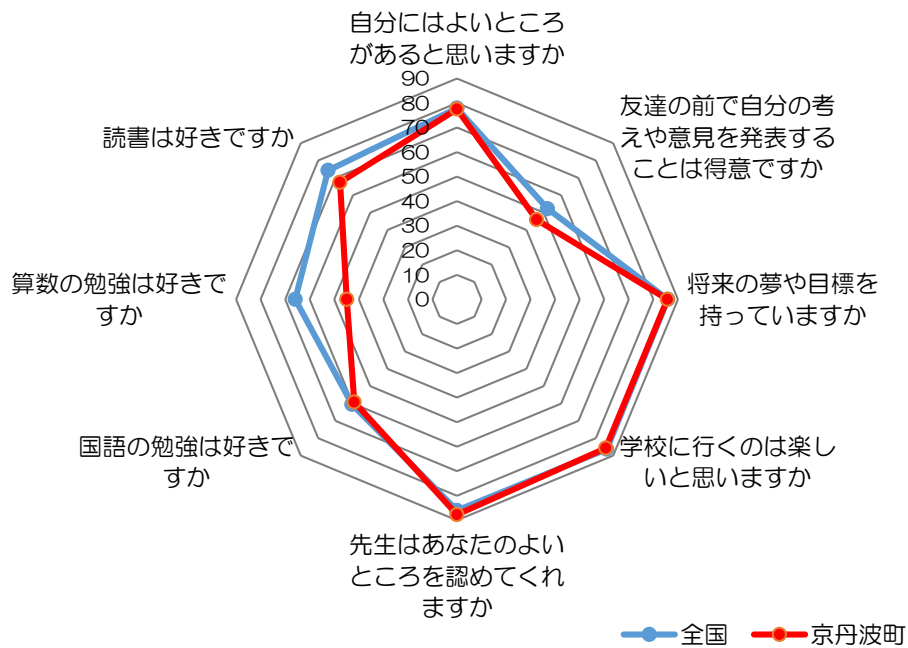
今住んでいる地域の行事に参加していますか。



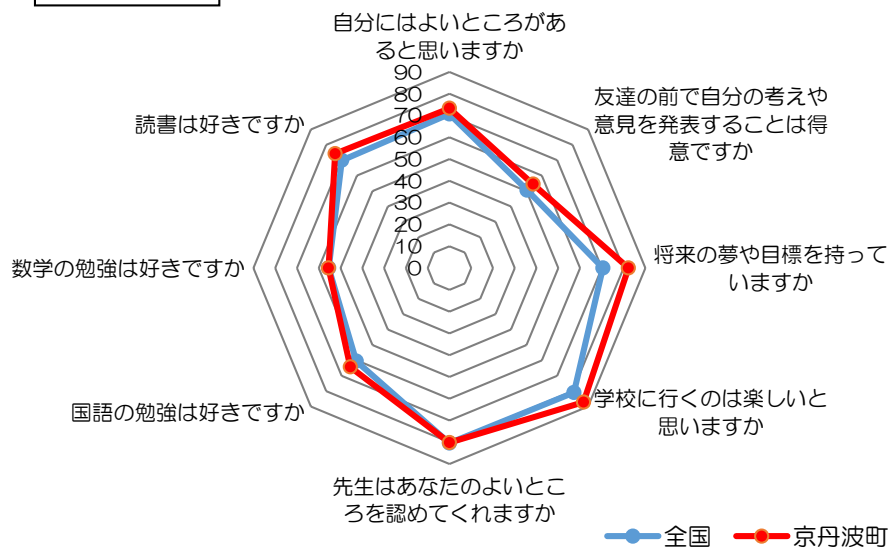
- 全国と比較して、ふるさとの伝統と文化を守り受け継ぐ、京丹波町で開催されている行事に多くの児童生徒が参加している。
- 毎年、全国と比較して地域の行事に参加する児童生徒の割合は高い。

学校生活について

小学校6年



中学校3年



- ほとんどの項目において、全国とほぼ同じような状況であるが、小学生においては、「算数の勉強は好きですか」「読書は好きですか」の項目において、全国よりやや低い回答であった。
- 「将来の夢や目標を持っていますか」「学校に行くのは楽しいと思いますか」という項目において肯定的に回答している児童生徒割合が高い。

改善方針

○学習の質を一層高める授業改善の取組の活性化を図る。

「学びを育む京丹波町メソッド」に基づく更なる授業改善を図り、誰もが安心して自分の力を発揮できる環境づくりと毎時間の確かな学びを積み上げることにより児童生徒の更なる学力向上を目指す。

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進を図る。
- ・ユニバーサルの視点で児童・生徒が学びやすい環境をつくる。
- ・身に付けたい力を明確にして、「めあて」から「振り返り」まで一貫性をもたせた指導を行う。
- ・児童生徒を学びの主体者にするため、効果的に言語活動を位置付け、学習活動の質の向上を図る。

○一人一人の学力実態を把握し、個に応じた指導を行う。

- ・町内全ての小中学校に学習支援員を配置しているが、今後も個に応じた指導を一層推進する。

○家庭と連携し、家庭での過ごし方の充実を図る。

- ・家庭学習の時間

学校では、授業とつなぐ家庭学習を工夫するなど、宿題の量や内容の見直しを図ることで、学力の定着を図ったり、児童生徒の学びに向かう力を育成したりする。

- ・テレビの視聴、ゲーム、インターネットの使用時間等

○読書を通じて、学力の基礎となる「ことばの力」を育む。

- ・町内全ての小学校、中学校に読書指導員を配置しているが、今後も一層、学校図書室の積極的な活用や読書活動を推進する。

○幼稚園、小学校、中学校の連携を密にし、学びの連続性を図る。

- ・小中一貫した学びのスタイルを確立して指導方法をつなぐことにより、小中の円滑な接続を図るため、各中学校ブロックでの合同研修会を開催し、「学びを育む京丹波町メソッド」の徹底を図る。